

# 地域コミュニティニュース(仮題)

・・・この情報誌の愛称を募集しています・・・

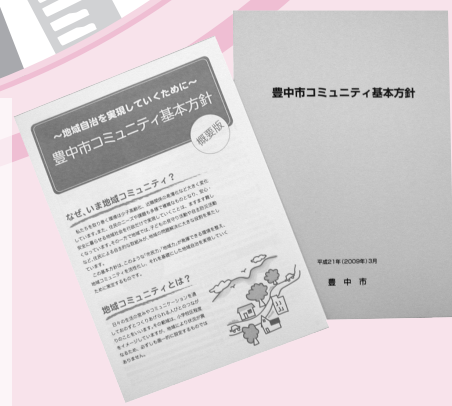
発行 豊中市 政策企画部 コミュニティ政策室



## コミュニティ基本方針を策定しました!

地域では、子どもの見守り活動や自主防災活動など、住民による自発的な取り組みが、地域の問題解決に大きな役割を果たしています。このような「市民力」「地域力」が発揮できる環境を整え、地域コミュニティを活性化し、それを基礎にした地域自治を実現していくためには、市民や事業者、市など多様な主体が取り組んでいく必要があります。

市は今年度から、この方針の普及啓発や、地域の課題について考えるセミナー等を実施します。また、地域の自治にかかわる地域と行政の役割分担や必要な体制「地域自治システム」についての調査検討を進めていきます。



コミュニティ基本方針および概要版は、コミュニティ政策室、市政情報コーナー、各公民館・図書館などの公共施設や市ホームページなどでご覧いただけます。



## 活動を継続するポイントは“遊び心” 親和自治会

庄内西町公園に放置された大型ごみを見るに見かねて始めた清掃活動と花壇作り。市と公園の自主管理協定を結び、緑化リーダー養成講座を受講した会員が花の世話を担うなど、活動を充実させてきました。今では、季節ごとに色とりどりの草花が咲きそろい、公園を彩ります。ごみの放置もなくなりました。

この花壇は、建築業に携わる人や芸術家など、いろいろな技術を持つ会員たちが廃材や瓦を利用して作ったオリジナルのものです。また、公園の片隅には、親睦旅行に行くたびに記念プレートが立てられます。こうした“遊び心”を持って、みんなが楽しみながら活動に参加していることが、活動を長続きさせる秘訣のようです。



**公園・緑道の自主管理協定制度**：地域団体と市が協定を結び、公園や緑道の清掃等を地域団体がを行い、市が活動に対して清掃用具の貸出しなどの支援をします。問合せ先：公園みどり推進課 TEL6858-2353

ハイキングやゴルフ、お花見や祭りなど、会員同士がふれあう機会をできるだけ多く作り、そこから自治会活動をもっと活発にしていきたい。(石井さん)



## 集団回収がコミュニケーションを育む 上野丘自治会

市内では現在、437団体が集団回収を行っています。その中で同自治会の回収量はトップクラスです。これは、集団回収のメリットや再生資源の出し方を書いたチラシを回覧・掲示したり、毎月の自治会だよりに掲載して情報提供を続けてきたことや、若い人が率先して高齢者宅の再生資源を回収場所まで運んだりするなど、多くの人に協力してもらえ工夫や心くばりを重ねてきた成果の現れです。

こうした活動の支えとなっているのが、約9割という自治会の加入率の高さです。「夕涼みのつどい」「秋桜会(敬老のつどい)」「作品展」などの諸行事や、「地域一斉清掃」「めいわく駐車追放合同パトロール」など、地域みんなが参加し、楽しめる機会づくりに努めてきたことで、日ごろから助け合える関係が育まれています。

**再生資源集団回収報奨金**：自治会・子ども会等の地域団体などを対象に新聞・雑誌類・段ボール・布類・アルミ缶等の再生資源の回収量に応じて市が報奨金を交付します。問合せ先：減量推進課 TEL6858-2275



条件が整ってなくても、まずは、できることからやってみる。これが私たちの活動の原動力です。(左から藤本さん、浜辺さん、杉山さん、小林さん、大柱さん)



## みんなの里山を元気に 島熊山の雑木林を守る会



豊中市北部、千里丘陵に位置する島熊山。平成3年3月、キツネやタヌキが生息する島熊山の雑木林を守るため、同会が結成されました。月1回、雑木林の竹林整備や周辺の清掃などを実施しています。また、近隣小学校の体験学習に協力して観察会を行っています。

当初は、とにかく島熊山のことを知ってほしいという思いから、毎月観察会などを開催しました。しかし、開発が進む中、保全活動に重点をおき、年に1度「里山ボランティア」を募集するようになりました。自然に触れながら、道具の使い方も習得し、会員数も増加。今では、森の手入れ班、清掃ハイキング班などに分け、各班にリーダーを置いていきます。これが1人に作業の負担が集中することを防ぎ、次のリーダー養成にもつながっています。



頼もしい仲間が増えて嬉しく思っています。山の中での作業は大変心地よく、やりがいを感じています。(代表 社さん)



## まずは身近な地域から 米田産業株式会社

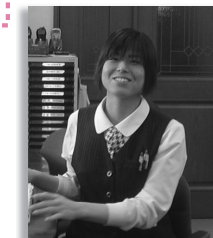
大阪国際空港近くにある同社の営業所周辺は、川や緑地に囲まれた民家が少ない地域で、飛行機の見物客が残したごみや家電製品の不法投棄が絶えない状況でした。企業として何かできることはないかと考えていたときに市のアダプト制度を知り、清掃活動を始めました。週1回、当番の社員5~8人が周辺を回り、ごみを拾い集めます。また、大阪府が行う河川清掃にも進んで参加し、社員が会社のショベルカーなどを操って、河原から大型ゴミを引き上げます。

活動を始めて5年、ごみの量は着実に減り、地道な取組みの成果が実感できるようになってきました。犬の散歩に訪れた人から「ご苦労さま」と、ねぎらいの言葉をかけられることも大きな励みになっています。平成18年にはISO14001認証を取得。環境を守ることを理念に掲げ、一人ひとりの社員が自分にできることを考え、実践しています。



**アダプト制度**：団体と市が覚書を交わし、道路など公共の場所の定期的な清掃活動を団体がを行い、市がごみ回収と用具の貸出しをします。お問合せ先：美化推進課 TEL6858-2276

環境を守るという大きな目標に向かって、まずは身近なところから活動を続け、地域に貢献したい。(酒元さん)





# みなさんに親しまれる情報誌をめざします！

## この情報誌について

この情報誌は、地域の団体やNPO、事業者などの活動内容や活動に役立つ市の制度などの情報をお伝えします。


「地域の底デカラ!」では、いろいろな分野で特徴的な活動をされている市内の団体の取組みを紹介していきます。「私たちの地域ではこんな工夫をしている。」「こんな悩みがあったけど、みんなで協力して乗り越えられた。」などの情報があれば、ぜひ、コミュニティ政策室までお知らせください。

この情報誌「地域コミュニティニュース」の

## 愛称を募集しています！

「地域コミュニティニュース（仮題）」が、みなさんにより親しみをもって活用いただけるようにと願って、愛称を募集します。

※採用された方には記念品を贈呈します。また、応募者全員にこの情報誌（平成22年3月発行分まで）をお送りします。



募集締切：平成21年7月31日（金）必着  
応募方法：郵送、FAX、メール、または持参で、  
コミュニティ政策室（下記）まで  
記入事項：①愛称  
②愛称の意味・理由  
③住所・名前・電話番号

## とよなか夢基金（市民公益活動基金）にあなたの応援を！

市民や事業者の皆さんが行う社会貢献活動を応援しようという人たちの思いを、寄附金という形で市が受け取って積み立て、毎年、さまざまな社会貢献活動への助成金として活用します。昨年12月の基金創設から5月までに、86件・80万3千円のご寄附をいただいています。ありがとうございます。

今年度は、子どもたちのふれあいの場づくりや障害者の自立支援、科学おもちゃづくりなど、16事業に助成金を交付することが決まりました。

これからも皆さんの温かい応援をよろしくお願いします。

Thank you



発行

豊中市 政策企画部 コミュニティ政策室

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1（豊中市役所 第二庁舎3階）

TEL 06-6858-2727 FAX 06-6858-2667

メール community@city.toyonaka.osaka.jp

市ホームページ <http://www.city.toyonaka.osaka.jp/top/bousai/np0/index.html>